

今年度から助成事業に県下老人福祉施設で喜んで頂けるよう介助用車椅子とリクライニング車椅子の寄贈をするとともに、ソフト面として訪問入浴施設職員を対象に訪問入浴介護の普及と資質向上を図る目的で老人福祉施設団体従事者研修事業を実施いたしました。

老人福祉施設等整備事業（助成・寄贈）
12,830,000円
多気町
高齢者交流施設整備事業————— **6,200,000円**


高齢化社会、核家族が進む中、寝たきりや痴呆等にならないために高齢者の外出する機会を提供し、老人同士の触れ合いと保育園児との交流を図る対策の一環としてのモデル事業に保育所に隣接した宅老所的なものを整備して高齢者交流施設整備に対して助成する。

多気町社会福祉協議会
老人福祉環境整備事業————— **800,000円**


一人暮らし老人や老夫婦世帯が増加し訪問介護サービスの需要が高まり病院への移送サービスや平成15年度から多気町から受託する身体障害者ヘルパー事業に対して訪問職員の増員に伴いヘルパー活動車輛整備の助成をする。

*近隣(松阪市・伊勢市・多気郡・飯南郡・度会郡各老人福祉施設)

社会福祉法人 齋宮会

老人福祉環境整備事業

500,000円

入所者及びデイサービス利用者の車椅子使用の増加に伴い介助用食堂機の不足補充及び理学療法・作業療法の充実を図るためリハビリ機器等整備の助成をする。

社会福祉法人 育心会

特養多気天啓苑環境整備事業

1,000,000円



入所者の日常生活動作レベルが徐々に低下し車椅子利用が増加し、それに伴い特浴を利用される入所者が増えるのと今後多気町内の特浴を必要とする老人デイサービスおよび身体障害者の利用を受け入れて行くため特浴機械の増設の助成をする。

松阪市・伊勢市・多気郡飯南郡・度会郡各老人福祉施設

老人福祉環境整備事業 1,430,000円

老朽化、要介護度の重度化に伴い車椅子利用者の増加及び近年各市町村において福祉協力校ができ福祉体験・福祉教室の充実及び身体障害者・低所得者への貸出事業の充実を図る目的に対し車椅子の寄贈をする。

◆自走・介助両用車椅子 13施設 65台

飯南町社会福祉協議会、明和町社会福祉協議会
大台町社会福祉協議会、勢和村社会福祉協議会
玉城町社会福祉協議会、南勢町社会福祉協議会
南島町社会福祉協議会、大宮町社会福祉協議会
御園村社会福祉協議会、度会町社会福祉協議会
二見町社会福祉協議会、玉城町ケアハイツ玉城
(社) 滋恵会(特養 正邦苑)

**◆リクライニング車椅子 1施設 1台**

飯高町森診療所



左記以外の県下各市町村の老人福祉施設

老人福祉環境整備事業

2,900,000円

老朽化、要介護度の重度化に伴い車椅子利用者の増加及び近年各市町村において福祉協力校ができ福祉体験・福祉教室の充実及び身体障害者・低所得者への貸出事業の充実に対し車椅子の寄贈をする。

◆自走・介助両用車椅子 27施設 135台

一志町社会福祉協議会、美杉村社会福祉協議会
三雲町社会福祉協議会、浜島町社会福祉協議会
志摩町社会福祉協議会、紀伊長島町社会福祉協議会

紀宝町社会福祉協議会、桑名市社会福祉協議会
長島町社会福祉協議会、員弁町社会福祉協議会
菰野町社会福祉協議会、川越町社会福祉協議会
(社)ウエルケア(津橋北デイセンター)

(社)素問会(特養 芹の里)

(社)明光会(特養 笑美の里)

(社)尾鷲長寿園(スバル台デイセンター)

(社)菊寿会(特養 みやま園)

(社)エイジハウス(特養 エイジハウス)

(社)洗心福社会(特養 豊壽園)

(社)青山福社会(特養 森の里)

(社)こしば福社会(老保 トマト)

(社)鈴鹿福社会(特養 鈴鹿グリーンホーム)

(社)健和会(特養 パークレジデンス)

(社)名張厚生協会(名張特別養護老人ホーム)

(社)終会(特養 華旺寿)

(社)いろどり福社会(デイセンター花紬)

(医)博仁会(老保 ひまわり)

◆リクライニング車椅子 1施設 1台

(社)紀和会(特養 ケアホーム熊南)

老人福祉施設団体従事者研修事業

第1回 訪問入浴施設事業職員研修会（参加14施設 39名）

訪問入浴介護の普及と質の向上を目指し、「訪問入浴サービスの生活支援」言い換えれば、私たちの生活は、住居があり、上下水道に電気やガスが確保され、食事ができ、そして入浴もできる、といった生活の基本があります。

高齢者の福祉を考える場合も同様で、まずこのような基本的なサービスをきちんと提供することを念頭に置き、訪問入浴サービスの従事者も、家族の[生活全体を支えてゆく]という視点を常にもち続け、日本人に欠かせない「生活文化」として入浴介護も位置づけ良質なサービスを提供していただくためのお手伝いをさせていただく研修会の開催です。

講演 訪問入浴サービス実践セミナー

講師 デベロ老人福祉研究所

1.安全入浴の基本

利用者に安心してご利用していただくために必要な知識、訪問入浴介護スタッフはもとより、関係者全員の共通認識。

2.訪問入浴サービス提供方法

安全で安楽な入浴を提供するとともに、利用者個々のニーズにどのように対応していくか。また、スタッフの具体的な役割分担及び介護保険制度に対応したサービス提供の手順等、マニュアル作成に必要な事項。

3.サービス提供の実際

実際に入浴車及び機材を使つての実技、受講者による体験入浴介護の実施。

受講生の感想

今まで訪問入浴介護研修は県外（水戸・大阪等）でしか実施されておりましたが県内で実施され大変良かったです。

入浴の仕方から介護保険の事まで細かな所まで幅広く研修できて良かったです。

以前から訪問入浴の研修会への受講を希望しておりましたが近くでの開催がなく今日受講できて良かったです、今後ともぜひ継続していただきたい。

現場で経験のある講師の方の講義が受講できて良かったです。

老人福祉団体運営活動事業

第5回くすのき杯GB大会

後援(財)吉田福祉基金

のびのびパーク天啓公園芝生広場に「あずま屋」が整備され吉田福祉基金GB大会の横断幕を作成しての最初の大会となり多気町ののびのびパーク天啓公園芝生広場並びにGB場で県下60チームから380名の役員、選手が参加して開催する。



優勝 北小松(四日市市)チーム
準優勝 ちくま(松阪市)チーム
3位 伊賀忍(上野市)チーム